



萬世文閣藏

白石
篆

集
廊
廂
影

3869
107

3942

明沿
附
集

序

我大國の生るるの

本情を為さずして

むしとて歌謡の

たしとて我々の

うらみ文の世を

人々の血を

指頭をよむ

大正七年三月寄
室井平藏氏贈

切のつまふく録出さう中
ふまの翁句とふまの徳り
出へ雅ふりまのちうたふ
く我あがれまをむま屋
若川ぬの需るふり
陰陽軒の大人為え權
ま水一粒の秀句の中
より粒も新やとて珍なり

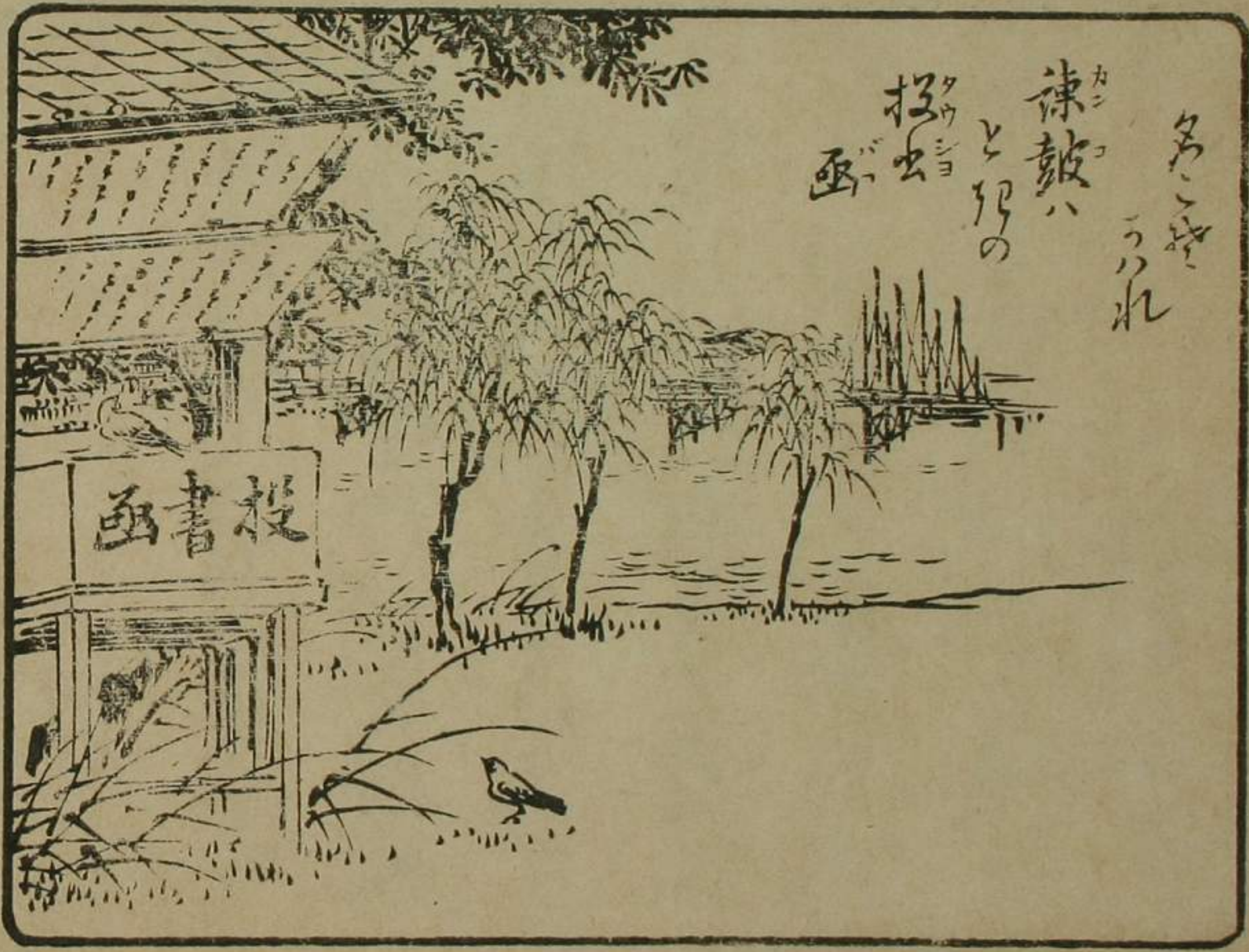
なる成振出され初学の
使りやとまの勢りまを
明ふく之治る徳の復教
おちとぬつ紀事つとおこ
つまふりて程先の事ふ
ふらう坊人まを意成たぬ
明治十あまう中幸の夏
夏也家とん

竹の葉の音

名は
うれ

疎
鼓

招
去
画



明治村附集

後陽軒和合堂匠宗原貞花撰



お経巻
かき
かき
かき

樵夫
かき
かき
かき

疾
かき
かき
かき

我
かき
かき
かき

鼻
かき
かき
かき

来
かき
かき
かき

雪あられ

耶蘇江州一尾と名味アリ

羊のあゆみ

おろし 炎屋ゆりてこ

かひしよん

知地 何れ今の新

乳が尿あたら 糸トま

立江溜風

薩でい 嫁は子作り

四王 通路も并化

ちん不養が 材子下

サアお虫

お尿かけたら 糸は毒な

遠く 下りて 時分

お豆さし 母若ひ

箱 四角まん丸

長口上

鼻屎をと

おひ 舟トや

店中 引きて

女海渡の 船問ふ

一月

女海渡の 船問ふ

何れの家附集

懐十

此の首飾今朝見たり

男まはり

豆袋と飯丈こまのか

長糸

ぞろぞろ 袴一纏世者

懐十

べた〜いけとせんらわへ

何

入して月給を宛新へ

旧弊人

まだ毎世のよる昆布巻を

たぐり

わらひなよを此糸石か

一寸まら

ほぐせんち〜けぬよふ

あひ

カフ上たろややを流し

ねら

かどあきか〜小猫とりを

きり

へちヤカテ大キ懐りきん

情ナ

言たいらんらつあひま

何

そな味ひらちふ尿

り

年変果見の傍角居

宙

小家〜せせしめはでほ

何

大系ドやたろ痕こ〜

何れの家附集

江戸の雑学

懐ナイ

兄さんちゃんを又用ひ

ツシカ

岩物めろとんまくるまで

懐ナイ

巻くやうなう席かりふ

アホ

待ツとる年の明のん城

なけけか

掃除仕りく辯慶が

一寸まつて

トントせく程いつんゆん

小サイ大佛

個の寫生をんくさけ

懐ナイ

講中が付て出てうせた

かきなら

きり

米

春の

字

夫婦



長家齋

姉トヤ小町のおはヨリ

男

つぎやうさり知れさんの

たて

穢あうそかろつ

社

まろ習とつふ魔がさ

昨... 附集

旧弊人

拜付てまゝ、髪附ヶ高

髪喰鹿

お堂中ろてそいやぢのホ

笑料

恥己お礼おらーやもし

かしく尻を

氣取れり乗へ入れられ

宙ふふり

お念ふて四七剣一

旧弊人

伏居は居りや登られ

驚くふ

名物不たて江梅

宙ふふり

結句仕うくお笑送りて

男戸空

お盤らる線燈先いた

羞喰物

吞だが蓮ぎ法利の見

つゞいナア

ちとたそ嬌け

男女

氣あり、等急仕まほ

正直

マニヤン所でよめれた

ゆい尻を

先生餅やく搦子

手打ハき

ちゆい尻を減さる

狂乱

聖海渡りか智やん

塩打ハきつと
 き後ノふりどノ座ノり
 笑ハ州ノ州ノ
 折リふやおお代ノで基ノ所ノを
 とりくふ
 ウントキバつて啼クきん
 長ノ不ノ聚カ
 新カしつとノ持マ込マのや
 宙ノふふり
 靴ノの料ノ理ノらノをノり
 のノとノ森カ
 汚クきノやろ竹ノ馬ノも
 変ノ打キきつて
 廓ノマノのノりノにノ隣ノくノまノて
 笑ハ学ノ子ノ
 後ノうノてノふノんノてノゆノりノひ

養ハ治ハ虫ノ
 やつノりノ糸ノふノ糸ノ何ノ艘ノも
 内ノ方ノも
 扱レたノ連ノ中ノがノ知レ連ノ中ノにノ
 かノあノんノ
 きノつノてノあノんノをノちノんノにノ
 とノもノくノふ
 針ノをノ扱レたノはノあノんノて
 回ノ
 毎ノ人ノをノりノねノてノ隠レるノふノハ
 宙ノふノふノり
 春ノがノちノりノてノあノんノにノふノ
 正ノ直ノふ
 旧ノ曆ノでノ毎ノキノヤノ来ノんノ井ノノノ人ノ
 くノもノくノふノ
 今ノでノ消レてノゆノりノ火ノも

山崎宗信

伯父アホに頼タカる御海ウミに成ナれ
頼ツカんだ頼ツカの行ユキと遠トホく
直ナまハき川と
秀カ壺コ仕シたト花ハ代ヨの顔オモ
苦ク勞ラウがツたヒとタけド
水ミ揚アげホすリ幹クへ
逢スメテるノ権ケン家カうウ
お客オホをシてハ智チ恵ヱんを
ちやうんかれの幕ヒイキウらう
たでくらぬ出

今の大人アホをシ子コ他ドモより判
いつヲトヨシク
いつヲトヨシク追オ人トをシおもつの後ノ
岩イ松マとおもき一ツ新ニひス
灰ハイ屋ヤの狸節ノ也ダ
おはらいとおもいとおもいとおもい
内ウチ方カタに
おはらいとおもいとおもいとおもい
掛カつつりり五イ鳥トリ城シロ
ホイ押オしとるニ座ザをシん線
遅オソつつた

目名子付集

竹下のくそ

巢板出遠入す島度り
出ハ糸ハ只石ト一
善ハ糸ハ只石ト一
曲舞の弓場ハアテキ世ハ
岩松ハ知ハ此橋歩
ぬけ糸ハ只石ト一
せんそくの糸遠きりハ
高生糸ハ只石ト一

埃口風だけコチの如
出ハ方ハ只石ト一
大出ハ女湯トハ有ッ
網際ハ只石ト一
トシの糸ハ只石ト一
底ハ只石ト一

目録

明子集

せめて女衣^{メウ}不^レどの脊^セグ
降^フ夕^{ツキ}以^テて^レ下^ガ秋^{アキ}を^シたい
く^ハつ^テら
骨^{コト}う^ク救^クを^キ解^キた^ケド
いつ^クも^シん^キり
救^ク医^イ女^メ系^{ケイ}氣^キ人^{ジン}が^キ事^{コト}
ア^クヤ^クヤ^ク一^ニ一^ニ
い^ハま^ハの^ハ親^{オヤ}父^{チチ}不^レや^ハい^ハと^スる
エ^ラ別^{ベツ}品^{シン}
ア^クお^キ代^{ダイ}と^シん^キ今^{イマ}日^ヒ何^{ナニ}ド^カや
ア^クヤ^クヤ^ク一^ニ一^ニ
性^{カス}め^メあ^ハる^ハ代^{ダイ}新^{シン}り^リよ^クふ
是^{コト}ハ^ハあ^ハり
早^{ハヤ}り^リ江^エ石^シが^ガ送^{オウ}わ^ハど^カ判^ハ
判^ハ

ヶ^ケぶ^ブは^ハは^ハは^ハ
荒^{コウ}陵^{レイ}山^{サン}が^ガあ^ハみ^ミか^カあ^ハり
い^ハつ^クも^シん^キり
又^{マタ}降^フつ^ク一^ニ一^ニ 丑^ウ寅^{イン}一^ニ
エ^ラ別^{ベツ}品^{シン}
上^ウ一^ニ載^{サイ}に^ニ提^{テイ}て^テ往^ウに^ニ方^{ホウ}より
は^ハな^ハけ^ケて^テつ
遊^{ユウ}り^リが^ガ居^イり^リや^ヤ送^{オウ}き^キ海^{カイ}角^{カク}
あ^ハり^リん^ン報^{ホウ}
滋^シや^ヤ一^ニ日^ヒに^ニ心^{シン}を^ヲ整^{テイ}は^ハす
日^ヒ 日^ヒ
無^ムひ^ヒよ^ヨか^カ成^{セイ}と^ト重^{ジュウ}ふ^フた^タう^ウ
日^ヒ 日^ヒ
液^{エキ}せ^セん^ン通^{ツウ}ひ^ヒの^ノつ^ツて^テ素^ソも^モや
丸^{マル}
ぢ^チん^ン不^レ裸^{ダカ}身^ミ等^{トウ}あ^ハり^リと
+

明子集

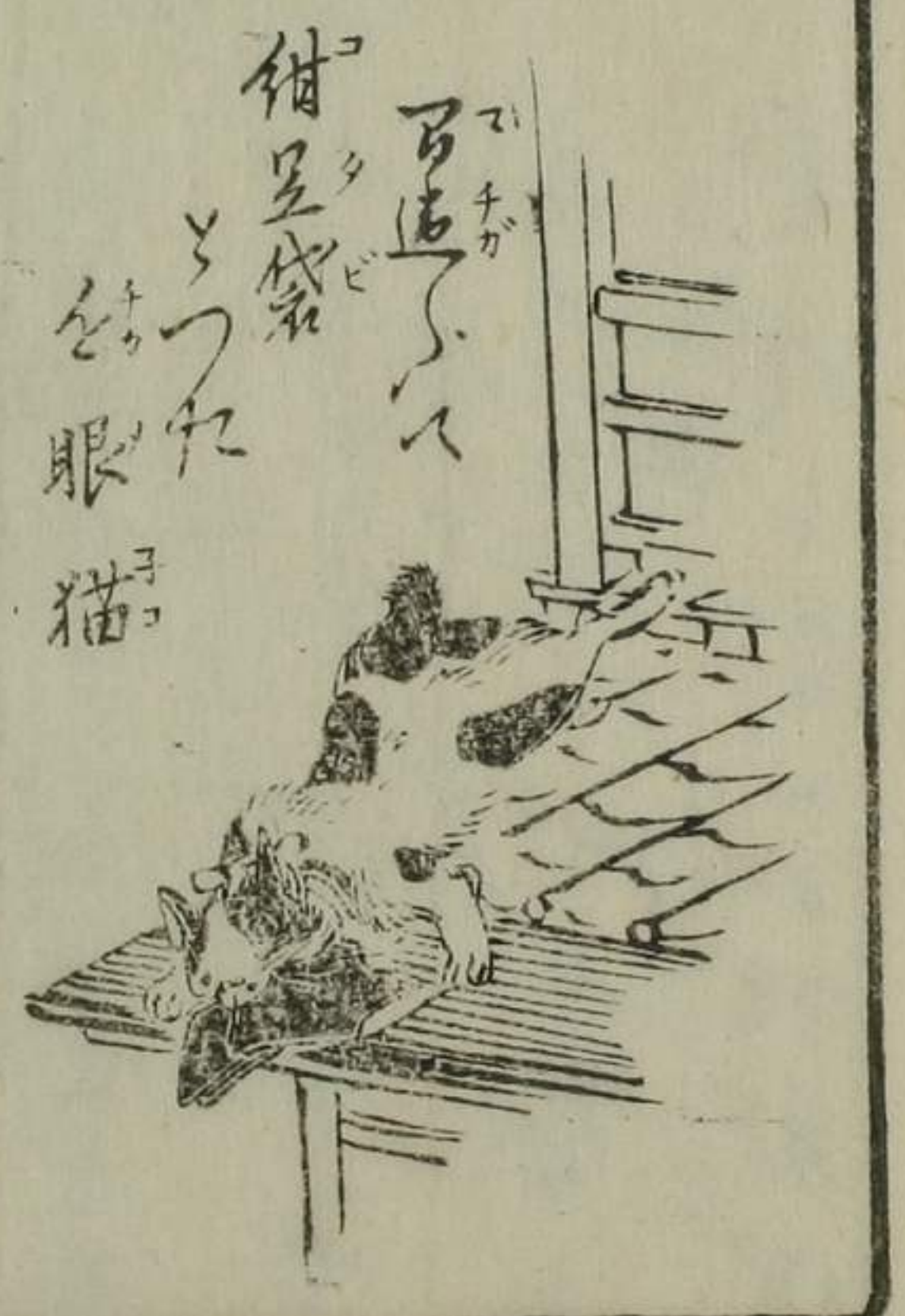
江戸野郎集

いつせんをり
ア、といふ百々あるつね小
けふなまてつ
裏門の方城 窓屋とそ
くさつてる
旦那トやよりのへ 登たケド
星ハ志ナリ
伊ト 江マア此 麻上目以ナア
エラ分取
もふ手 離まて 左友さん
きん ー ー
何カ 呼りれてうら 学校 裏
おし
根カ 半冬 着替ふねだ
いつさんをり
肩 へんり せと こそ 幸ハ

昔なちん
だろ 不へてそおれ 雪うら
今 ー
何 変様 ちのト 也 解 麻坊
いき ちん人
涉 ぬ や き け ぬ 筋 ト 也 ヲド
めふ う ー
一 寸 乳 中 乳 の 忍 び の が
チイ 媒人 きん その 口 舌
うら
相 だ け ー ー 著 読 場 へ
一 葉 ー ー
学 舎 や せん ー ー の 録
ー ー ー ー
この 別 版 の よう せ ず だ ハ

同集 江戸野郎集

うんづくと
 神さん叩き廻し
 わふかり
 樹ふ紅きれ約
 う海
 また若登る葉とつらば
 苦ふあふん
 漸くさうぢも履し
 今ほ
 ぞ仕てこのトヤ年持
 已つてる
 色揚し
 今あかりぬ
 お下着斗
 いきふ人
 眼くわが物
 今をむかひて



苦ふあふん
 軽記すのあやに
 あらうと
 軽途なう
 ねく
 日
 中が好色
 書軍

月名
 十二

月名子集

龍リウをシりどイ女メま一が
 菊キク石イシがとないハ非ヒをシるハの
 かんデル
 うノおキきキ〜ク根ネぶ一枝
 折セ友トモ丈シヤク一十寸ヨウも一〜
 猿サ欄ラン月ツキ
 岩イワ公キミが恋眼メ病ヤメどか〜
 わつきり〜
 アノ波ナミが只の波ナミ〜ドヤ〜
 よめ〜
 美ウツクひお汁シユ〜と思〜
 仰ウケ山サン十
 持テ〜ひり〜切キ〜
 線

人ヒト集ツミ〜
 岩イワ松マツが養場バヤ〜
 子コ〜
 夜ヨおこ〜たら〜
 圓エン〜
 出デ養ヤウ生セイ〜ハハ〜
 命イナヒ〜
 海ウミ屋ヤ〜先サキ生セイ〜
 刻キョク木キ〜
 華カ〜
 二ニ〜
 迎ムカ〜
 一一〜

月名子集

山崎宗信



切キルやうそちやうのまをばやう
まあしくで
いきりや
藝ゲイなニそ猫ネコ肩カうウは車クルマそ
かカりリ村ムラ
吾ワるル悟ワしてシ飛ヒなナををれれや
山ヤマ乃ノ如ニし
ぬヌいイふフたタふフふフふフが

りリ一イチ悪アク
隣トナリ一イチ出来デてテ仕シ出デてテ屋ヤダ
重シ井ヰ遠エン不フ
明アキラてテやヤつツたタふフ路ロのノ下カで
らラくクさサをを
皆みな一イチくクせセのノりリ出デてテ
第一ダイイチ等トウ
いイつツとト帰キををんン帳チヤウメメ法ホウ
山ヤマのノ如ニし
机ツクリの上ノにニ身ミ上ウりリが
よヨうウあアいイ
々々々々きキやヤ葉エフとトてテ掛カ茶チャやヤも
小コ言ゴン八百ハチヤク
そのその切キきキ一イチ身ミ足ソクせセるルケケド
善コトシ悪アク
うウんンまマりリおオ眼メがガ十ジュウ六ロクあアらラて

同治十一年

月名子集

ぶしにれぬ 山の上 そなた
 度よ 山の上 い 変 灰 な ま
 新 新 新 新 新 新 新
 狐 狐 狐 狐 狐 狐 狐
 三 三 三 三 三 三 三
 云 云 云 云 云 云 云
 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂
 た た た た た た た

余 余 余 余 余 余 余
 お お お お お お お
 い い い い い い い
 櫛 櫛 櫛 櫛 櫛 櫛 櫛
 山 山 山 山 山 山 山
 新 新 新 新 新 新 新
 味 味 味 味 味 味 味
 人 人 人 人 人 人 人
 別 別 別 別 別 別 別

月名子集

十

浮気性

浮気性
始末はのろろ
あんなに
おーや
おつち
半
袴
風

浮気性
礼
尾城
か
大
ナ
明
行

浮気性

江戸と西京

上横手を打

眼を

地球の

論

まん



是ハ

子銭叩いて大おとなり乃

女ガ男ガ出て今ふや

同

婿ハ新ハ焚キヤ歯抜でも

御免

とつきり付てくれたり

エラヒ

西京空りうう海たえ

がんぞと

茶店ハ暖湯見くうせて

堀堀もちの内

阿婆の輪澤あふるを

まうれ

まだべお下はる席の幕は

お様

今ハ眼を歯をたのんも

チホ

男ハ志やくりが何の氣ハ

やう

上ハ

暖

おきつて尻りや

物語

何ノニア

精進シノリアをくり仕たうて、

海ウミカカのノや大オホきノ市チ

橋ハシ輪ワ一ヒト姫ヒメのノ段エ石イシつツ市チ

新ニホのノ橋ハシ多タはハ空ソラひヒケケド

乳ウ女メのノ袂タビ一ヒト鼻ハナがガはハ至シ

扇アビとト現アつツ現ア河カ市チて

案ア俵ハりリ船フネもモかカきキ捲マて

車クルマおオおオ車クルマにニ着キたりリて

店タナやヤおオ手テをヲ懸ケぶブたタうウふ

巧カウんンにニアア後ノチ様サマてテぬヌぬヌのノふ

おオ文ウチあアつツたタりリ仕シてテ巻マて

鼻ハナ一ヒト火ヒ着キ線センぶブぐグ〜

知チらラくク〜んンっツらラきキふフを

笥コふフ拍ヒ子コりリおオたタハハつ

上ウ手デふフゆユりリ粉コ相ア学ガク屋ヤが

新ニホのノ市チをヲなナがガ〜みミぢチぢチぢチ

何ノニア

世二

立非ゆん

どめいあちらくくろ衆

盗人だけ

月ひのま友

まらお刺

落さげさんり内方

たどがうれ

あまの世代老麻言

月れバ

生うろくく輝の業

星そよ

蒙留はまぐで

あて

よふてあまの

物

孝如と

あつくり

名をわつてうら

丸

解と

あつくり

あふだけで月

泣

せつくお年

回

きりひ

丸

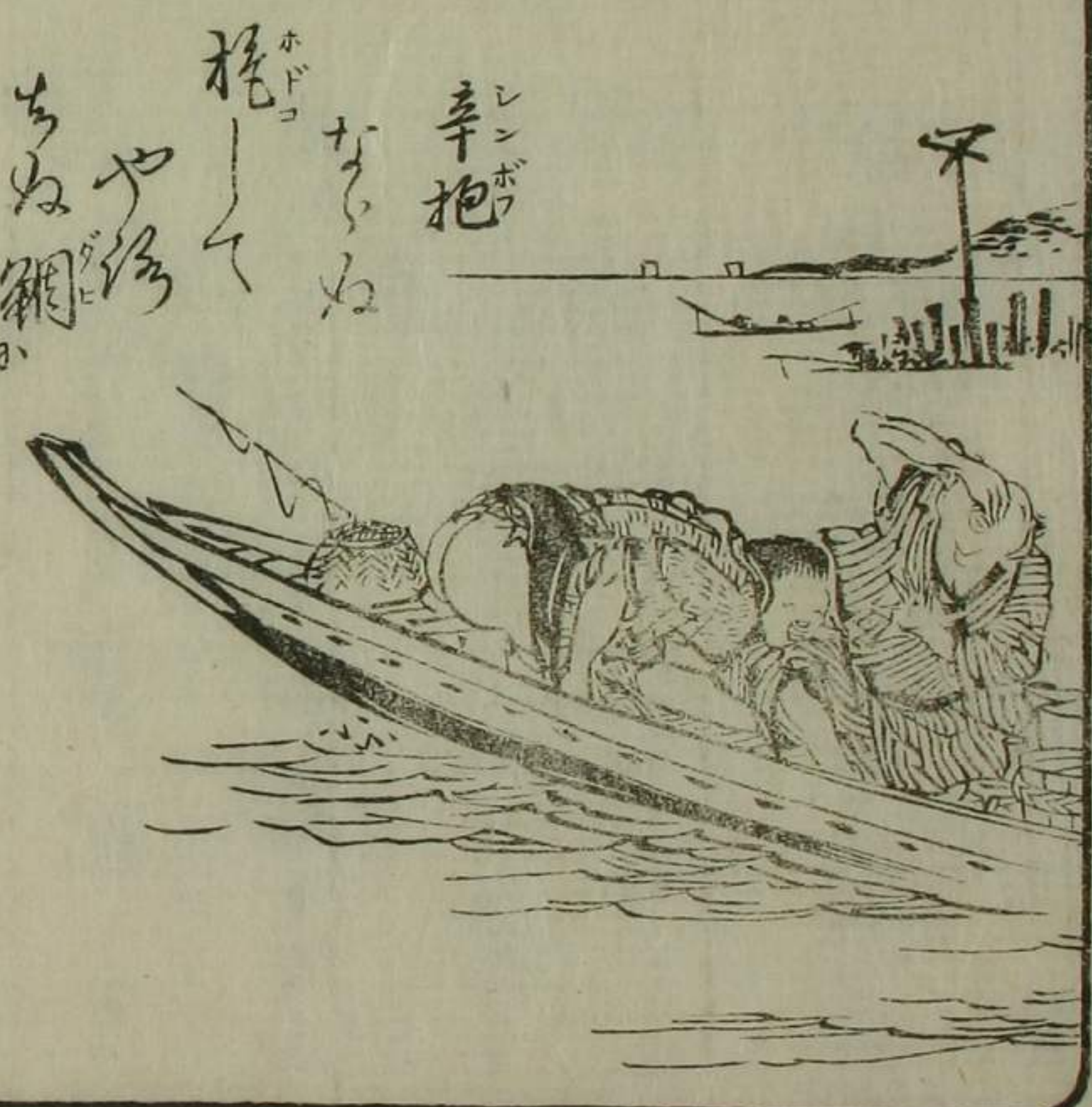
あつくり

二ツ

紙子の

唱

帰りの



幸抱 レンボ
 ちぬ ホドコ
 や ホドコ
 ちぬ ホドコ
 泣 ナ
 上戸 ウヘ
 あり アリ
 小秤 コケ
 の ノ
 目 メ
 銭 ゼン

船 フネ
 ちぬ チヌ
 粉 コ
 隊 タイ
 の ノ
 出 デ
 立 タテ
 武 ブ
 神 カミ
 の ノ
 花 ハナ
 香 カ
 巻 マキ
 皇 ミカド
 國 クニ
 の ノ
 花 ハナ
 入 イ
 ツ ツ
 支 シ
 船 フネ
 の ノ
 ん ン
 ハ ハ
 田 タ
 糸 イト
 の ノ
 目 メ
 づ ヅ
 む ム
 び ビ
 ぐ グ

山崎下長

後だ不^ツり^ツら^ツ眼^ツふ^ツり^ツ判
^ハ出^ハし^ハた^ハ
^ハふ^ハつ^ハれ^ハ新^ハ表^ハ紙^ハ出^ハて
^ハ二^ハツ^ハた^ハら^ハぬ
^ハ突^ハに^ハ能^ハ甚^ハ皇^ハ國^ハ 忠
^ハ多^ハし^ハな^ハら^ハん^ハと
^ハ又^ハ海^ハ不^ハ判^ハら^ハ半^ハ分^ハを
^ハ同^ハ
^ハ合^ハ庭^ハ百^ハあ^ハら^ハれ^ハく^ハん
^ハ二^ハツ^ハお^ハな^ハら^ハん^ハと
^ハ怪^ハん^ハで
^ハ新^ハ知^ハ百^ハを^ハ気^ハを^ハそ^ハと^ハ海

世^ハ百^ハの^ハ世
^ハう^ハま^ハひ^ハる^ハに^ハ数^ハ段^ハめ^ハか
^ハ怪^ハむ^ハあ^ハら^ハぬ
^ハ紅^ハの^ハ付^ハら^ハぬ^ハ猪^ハ口^ハを^ハ海^ハへ^ハ寄
^ハ怪^ハで
^ハ後^ハ義^ハも^ハら^ハん^ハと^ハ家^ハの^ハ使^ハり^ハ也
^ハ備^ハ立^ハ
^ハや^ハつ^ハて^ハ足^ハ勢^ハの^ハ七^ハ量^ハう^ハら^ハは
^ハ利^ハの^ハ利^ハ
^ハ遊^ハり^ハて^ハ善^ハに^ハ究^ハふ^ハら^ハ利
^ハ目^ハの^ハ後^ハ事^ハ
^ハ共^ハ小^ハ後^ハ少^ハを^ハ齒^ハう^ハら^ハ
^ハ切^ハつ^ハた^ハら^ハら^ハぬ^ハ引^ハ線
^ハ急^ハ入^ハて
^ハツ^ハイ^ハ傍^ハの^ハう^ハん^ハ諸^ハの^ハ書^ハの

同古舟自集

不^レんかそ^レ在^レる^レいふ^レ通^レる^レ
 遊^レの^レ遊^レ人^レ遊^レ極^レ極^レ極^レ
 いた^レち^レの^レ道^レ
 疲^レれ^レに^レ極^レふ^レこ^レら^レれ^レて^レも
 是^レコ^レレ^レガ^レス^レテ^レン^レシ^レヨ^レ大^レ阪^レ中^レ
 赤^レ玉^レ一^レや^レト^レイ^レサ^レク^レん^レつ^レて
 エ^レラ^レイ^レゼ^レ隠^レ居^レお^レい^レど^レう^レを
 養^レふ^レい^レち^レは^レ後^レ象^レの^レ子^レを
 レ^レン^レ直^レ直^レ
 す^レい^レと^レと^レち^レん^レバ^レで^レも

已^レたり^レの^レ解^レ
 後^レ家^レの^レ常^レ盤^レの^レ故^レ事^レ弁^レ弁^レ
 け^レん^レな^レら^レえ
 よ^レふ^レぐ^レつ^レん^レよ^レら^レお^レ提^レげ^レて
 レ^レン^レ直^レ直^レ
 戸^レ櫃^レう^レけ^レら^レれ^レ澄^レり^レ
 ず^レる^レい^レす^レり^レ極^レ刺^レノ^レ場^レで
 廿^レ候^レふ^レつ^レと^レそ^レを^レ暖^レ水^レ
 た^レん^レの^レお^レい^レえ
 ふ^レら^レん^レ上^レと^レる^レ麻^レ坊^レ分^レ々^レ
 仕^レ舞^レて^レ不^レレ^レが^レあ^レら^レん^レぞ^レと
 煙^レ火^レあ^レる^レが^レあ^レる^レや^レら^レ

